

(特非) 黒潮実感センター

足摺宇和海国立公園における景観および 動植物資源の再評価とその持続的利用

イベントの 延べ参加者数	571人
イベント参加者 の満足度	90%
活動の全体目標 に対する達成度	80%



サマースクールの様子（クリアカヌー）

◆成果と工夫したポイント

●成果

柏島周辺海域の海中ビデオライブラリーを作成。子どもから成人対象のエコツアーを開催し、3年間で約1,800人が参加した。足摺宇和海国立公園内の陸域の動植物の調査、海域の魚類相調査、リーフチェックを実施。

●工夫

ダイビングガイドや植物調査団体、野生動物の調査をしているNPOなど、幅広い人に協力を要請した。

課 題

指定から40数年が経過し、観光客の減少が顕著であった足摺宇和海国立公園の資源を再評価することで、利活用と保全を推進する。

目 標

足摺宇和海国立公園における景観や動植物の魅力を再発見、再評価し、利活用の推進を行うと同時に、持続的利用に向けた保全対策を講じる。

活動内容

これまで観光の中心であった竜串海中公園や足摺岬周辺の環境だけでなく、近年スキューバダイビングやシュノーケリング等でレジャー客が増えてきている、大月町柏島や宿毛市沖の島周辺の海中景観及び海洋生物の調査や、海中ビデオライブラリーの作成、サンゴ食害生物の駆除活動を行った。また、当国立公園の魅力をわかりやすく伝えるためのセミナーやエコツアー、子ども向けの環境学習会を開催した。陸域では動植物の調査を行った。

達成できなかったこと

足摺宇和海国立公園は範囲が広すぎたことと、スタッフのマンパワー不足、そして、夏場はエコツアーで予定が詰まってしまう、特に陸域の調査が十分にはできなかった。

今後の展望

今回作成した海中ビデオライブラリーを活用して、環境教育や観光客への啓蒙活動に繋げていきたい。



回復中の造礁サンゴ群
（大月町柏島）